

# 阪神甲子園球場 新室内練習場



所在地：兵庫県西宮市甲子園町1番82号  
 延床面積：4,948.03㎡  
 構造：鉄骨造、地上2階建  
 施主：(株)阪神タイガース  
 事業主：阪神電気鉄道株式会社  
 電気工事：中央電設(株)  
 更新工事完了：2017年3月

阪神タイガースのホームグラウンドの阪神甲子園球場に隣接し、主に選手の練習、調整に使用される新室内練習場が開設から13年経ち、省エネとメンテナンスコスト削減のため照明設備をLED高天井器具に更新しました。

## 甲子園球場に隣接し陸橋でつながる新室内練習場の照明設備を更新

プロ野球阪神タイガースの本拠地である阪神甲子園球場は、定期的な施設改修を行い、老朽化対策、耐震補強、環境配慮のための工事によって安全性、快適性を高めています。球場に隣接し一塁側と陸橋でつながれているかたちで新室内練習場がありますが、これは、球場アルプススタンド下の室内練習場（現在のブルペン）が手狭であったため、平成16（2004）年に、新たに設けられたものです。開設から10余年経ち、このたび省エネ・熱量削減による練習環境の改善・メンテナンスコスト削減のため、照明設備をLED高天井器具にリニューアルしました。

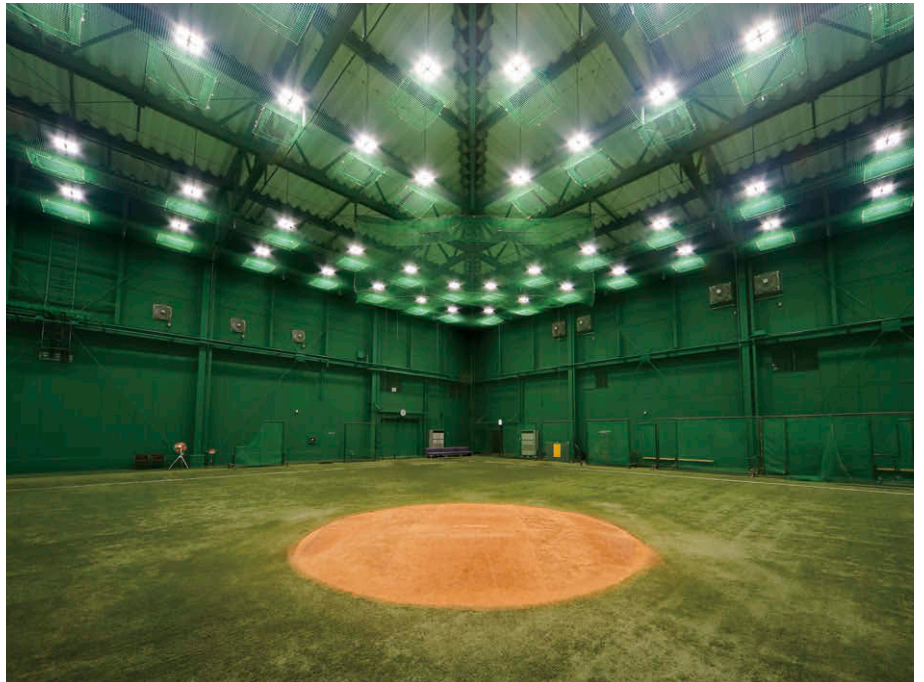
## 広く高い練習場に150台のLED高天井器具を配し練習のしやすい視環境を実現

新室内練習場は\*約3,600㎡の広さがあり、バッティング、守備、内野連係などの練習を存分にできるほかピッチング練習場も備えています。

照明はこれまで150台の1kWメタルハライドランプが設けられていましたが、今回のリニューアルですべてLED高天井器具に置き換えられました。天井から約2mのワイヤー吊りとして、床上10.2mの防球ネット上部の高さに配置。また拡散カバー付の下面ガードによって、上を向いたときなどのまぶしさを低減し、ボールの見やすい、気持ちよく練習、調整できる視環境を実現しています。光源寿命60,000時間でメンテナンスフリーで稼働しますが、各器具の下部ネットは部分的に取り外しでき、万が一のメンテナンスにも容易に対応します。

また施設内は広いので、全点灯、半数点灯をはじめ7タイプの照明(保安点灯含む)が可能で、練習内容、練習人数などによって使い分ける効率的な照明で省エネ効果を上げています。

\*3,600㎡はグラウンド部分のみ（60m×60m）



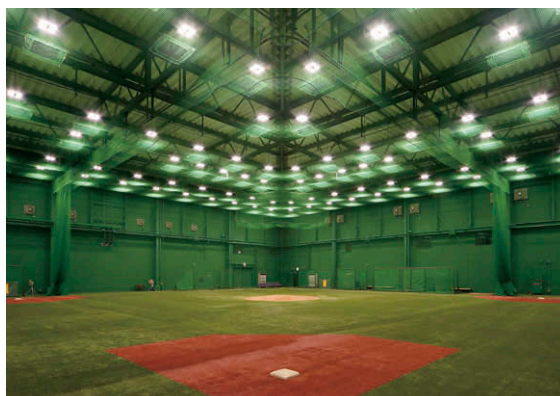
ピッチャーマウンドからホームベースを望んだ照明



三塁ベースから内野を望む照明



ホームベースから一塁線上を望む



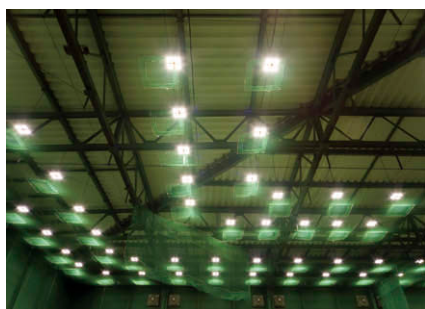
二塁ベース後方からホームベースを望む



保安点灯



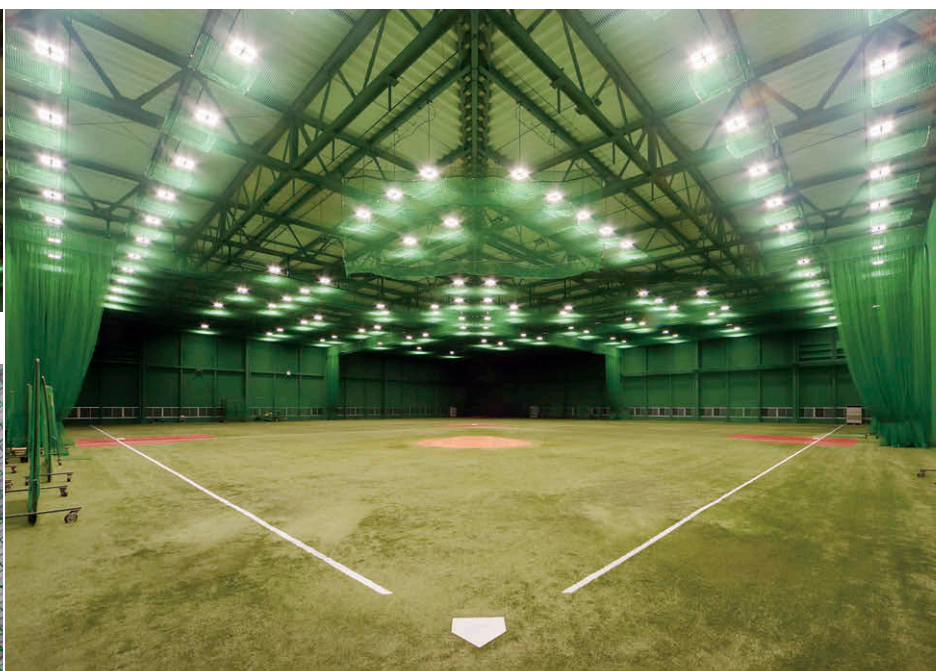
室内練習場全体に高い照度を確保しながらグレア低減した練習しやすい環境を創出



内野周辺のLED高天井器具配置



ワイヤーで吊るされたLED高天井器具



半数点灯の照明状況

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
練習場内	LED高天井器具角形シリーズ ハイパワータイプ (特注)	LEDJ-40060N-DJ2K+LEDX-20156GF	150	LED 消費電力: 504W